

だいじなことをわすれずに

いつでも

いっぱい

ちようせんしよう

学校だより

くすのき

合志市立西合志第一小学校

校長 村田典子



“伝える”から“伝わる”へ・・・相手意識・発声 いろいろいるんですね

子どもたちから「校長先生はいつも何してるの」と聞かれることがあります。ヒマそうに見えるのかしら・・・(苦笑)

学校にいる時は、授業を見に行くようにしています。近頃気になるのが、発表の時の声の大きさ。



【岩元克雄先生を招いたことばの勉強】

そして問いかけたときの応答、この時は静かに上品に頷く・・・このパターンが意外に多いのです。元気のいい声に出会うことの方が少ないのです。もちろん聞こえるように職員が促しはするのですが。

今、本校では「コミュニケーションを楽しむ児童の育成」をテーマに校内研究に取り組んでいます。それは、少人数で対話の相手が限定されている言語環境だからこそ育てたいという思いとこれからの教育の重要キーワードの一つ「対話的な学び」の力を付けていくこともねらいにしています。

一方的に「伝え」て終わりではなく、伝わっているか、理解してもらっているか、提案や企画等においては納得を得られるか、“相手意識”はとても重要な言語意識です。

そのためには、聞こえる声の大きさ、話の組み立て、内容の精選等々・・・様々な要素がありますが、まずは声の大きさ、発声ということで9月21日(金)には、もとRKKアナウンサーの岩元克雄先生にご来校いただき、「ことば」のお勉強をしました。それを受け、28日(金)には群読の集会。体育館に響き渡るなかなかの迫力でした。日常でしっかり生かしてほしいなど期待しているところです。



リベンジ・ザ「無言そうじ」一日で最も静かな時間

無言そうじは、年度当初に取り組んでいこうと確認したことでした・・・が、いざ始まってみると、そうじの仕方の指導や、子どもたち同士の指示など、なかなか徹底できない活動でした。9月20日の児童集会では、生活ボランティア委員会から提案があり、全校一斉に体育館を無言そうじ。この無言そうじトレーニングを経たその日の午後の本番そうじは、ほぼ無言。日を重ねながら、静かに集中したそうじができています。聞こえるのは、ほうきで掃く音、雑巾を絞る音のみ。一日で最も静かな時間です。



部活動の社会体育移行に向けて

10月2日(火)19時より、部活動の社会体育移行に係る保護者説明会を開催、本校の二つの部活動は次年度から社会体育に移行すること、今後は体制や組織づくり、規約作成等を進めていくこと等について確認しました。皆さんの前向きなご理解に感謝しているところです。

そのための準備検討委員として、サッカー部:村上さん・清田さん・田中さん、バドミントン部:吉村さん・安武さん・高村さんの計6名を選出しました。



今後、検討委員会や準備委員会を重ね、1月には暫定の体制を整備して、移行の本格準備を進めていきます。

ホームページ開設



10月1日(月)、新たに第一小のホームページを開設しました。お便り等だけでは十分発信できない内容を公開していきます。現段階では、以下の2つの方法でアクセスができます。

①URL 「<http://es.higo.ed.jp/nishigoushi1/>」

②QRコード(右図)

是非最新の学校情報に触れていただければと思います。毎日の給食も紹介します(^^) ご訪問お待ちしております。

